

# やすらぎ

医療法人社団 芙蓉会  
ふよう病院  
千葉芙蓉病院  
きゃらの樹ケアセンター

芙蓉会社内報 平成31年2月号



芙蓉会

## 理事長挨拶

医療法人社団 芙蓉会 理事長 四ヶ所 大

本年5月1日からは、いよいよ新元号の下に新しい時代が始まろうとしております。昨年末あたりからは、「平成最後の…」というフレーズを盛んに聞くようになり、平成時代を振り返る企画を度々目にしました。私自身は、平成6年2月から芙蓉会にお世話になっております。あっという間の25年間であります。今回は、平成における当法人を少し振り返ってみたいと思います。

平成元年 東京都・町田市 ふよう病院B棟完成  
平成8年 千葉県・君津市 きゃらの樹ケアセンター（老健）完成  
平成10年 ふよう病院C棟完成  
平成11年 千葉芙蓉病院増改築  
平成14年 グループホーム、ショートステイの開設、ふよう病院増改築  
平成18年 有料老人ホーム ミオ・ファミリア開設



中でも平成最大の出来事と言え、平成12年に施行された介護保険制度です。日本では、介護サービスの現物給付のみですが、施行前には日本よりも先に介護保険制度を開始したドイツを参考にする時期もあり、現金給付を制度に組み込んだドイツの手法を取り入れるかどうかの議論は、記憶に新しいところです。最終的には見送られる結果となりましたが、風土や国民性を考えると現方式に整合性があったと認識しております。介護保険制度が開始されてから、19年経過しましたが、最近では、最新式の医療機器のみならず、介護現場の手法にまでAIを駆使した自立支援等々が語られる時代を迎えました。介護職に対する待遇向上の名目で制定された「介護職員処遇改善交付金」は、雇用環境改善を目指し、更なる上積みも視野に入れるとの声も聞こえてきております。スタッフには常々、「ご利用者に満足していただけるサービス提供を心がけよう」と話しておりますが、新しい時代を迎えるにあたり、医療介護業界の発展とスタッフの満足度、ご利用者様のニーズに答えることのできる制度設計の再構築を願うばかりです。

果たして新元号は、既に決定しているのでしょうか。正式発表が待ち遠しいところです。

## 「老人は国の宝」

医療法人社団 芙蓉会 (事業所一覧)



- ・ふよう病院
- ・芙蓉ミオ・ファミリア町田
- ・グループホームあおぞら
- ・デイサービスふれあいルーム
- ・千葉芙蓉病院
- ・きゃらの樹ケアセンター
- ・千葉芙蓉ハーモニー
- ・千葉芙蓉ステーション

院内職員研修会報告 31年1月開催

## 「医療安全②医薬品の適正使用について」

発表者 アルケア株式会社 奥山様、一ノ瀬薬局長

## 内容

①疥癬治療薬の使い方

②昨年採用した医薬品について

今回の研修は、「医薬品の適正使用」をするためには、個々の薬品の効果・効能や使用上の注意点をよく知っておくことが大切であり、実際に使う時になって困らないようにするためにはどうしたら良いのかを職員に考えてもらう目的で、薬局に常時在庫してあるが使用頻度が少ない回線治療薬と、昨年度より採用された医薬品2種の特徴や注意点を詳しく説明していただいた。

医薬品は使用方法を間違えれば、効果がないだけでなく、害を与えたりモラルを問われるものでもあることから、医療従事者としてその取



り扱いには十分注意することが必要であることを再確認する研修会となった。

院内職員研修会報告 31年2月開催

## 「医療倫理について」

(株)川原経営総合センター 病院コンサルティング部副部長 長岡様

## 内容

「倫理」とは、「倫理を守る」とはどういうことかを考えた時に、人としてどうあるべきかという部分に相当する。病院での活動に置き換えると、例えば“命を護る”という仕事の特性上、皆で話し合い、自分・相手のために何を選択すべきかの価値規準を一致させていくことが大切である。今回の研修では、学校の道徳の授業でも取り上げられている「山の神と、生けにえになる村人達」の話しをされ、登場人物のうち、“誰が一番悪い”のかを、職員同士で議論した。大切なのは、①人それぞれ考え方が違うことを受け入れる。②これで良いのかなと、立ち止まって考える。③まわりと相談すること。であり、「医



療倫理」を考える上で重要なポイントでもあると解説された。

## 節分

節分のディスプレイをバックに写真を撮りました。鬼のお面をつける患者様もいらして、大笑いの1枚が撮れました。それぞれが、鬼（邪気・病気）を追い払い、福（健康）をもたらすように、と祈願しました。



## スプリンクラー設備新設工事

平成 30 年 11 月より、病院全体にスプリンクラー設備を新設する工事を行っています。本来、千葉芙蓉病院は法律上設置の義務はありませんが、患者様の安全のため設置させていただくこ

ととなりました。工期は 3 月上旬までの予定です。皆様にはご迷惑をおかけしますが、もうしばらくご協力ください。



書初め

1月は毎週土曜日に恒例の書初めをします。もう何年も字を書けていないという方が多いですが、いざ筆を持てば、払う、止めるなど要所はきちんととされます。今の時代、コンピューターで文章を作り、しかもローマ字という英字を打つ

て日本語を作る日々ですから、日本語を書くという意味ではお年寄りと同じか、ひょっとすると、それ以下になっているかもしれません。書き方を忘れる前に筆をとってみようかと毎年思います。



餅つき

1月はもうひとつの行事、餅つきがあります。毎年自宅で餅をつくという家が、施設の近隣にはまだ多く存在します。ですが、杵でつく家はさすがに無くなりました。杵が持てる方には一

緒についていただきました。残念ながら嚥下機能の問題でつきたてを食べてもらうことはできませんでしたが、懐かしい風物詩です。



医療法人社団芙蓉会 きゃらの樹ケアセンター

見学随時受付中



〒292-0503 千葉県君津市広岡 375-3

TEL 0439-50-7333 FAX 0439-50-7399